

良質かつ適切な精神保健医療福祉の確保のためのデータの利活用に関する研修

目的

精神保健福祉資料（630 調査）、NDB（レセプト情報・特定健診等情報データベース）、ReMHRAD（地域精神保健医療福祉資源分析データベース）と、それらを活用した精神保健医療福祉のモニタリングについて学びます。また精神科領域における実効的な行動制限最小化の考え方について学びます。

本研修は令和2年度厚生労働行政推進調査事業費（障害者政策総合研究事業）「持続可能で良質かつ適切な精神医療とモニタリング体制の確保に関する研究」（研究代表者 竹島正）の実施するもので、精神障害にも対応した地域包括ケアの構築の支援という位置づけになります。

研修日程

11月27日（金曜）13時~17時30分
オンライン開催（Zoomを使用します）

受講対象者

都道府県・政令指定都市の医療計画・障害福祉計画担当者等 80名

プログラム

13時-13時20分

開講のあいさつ、研究班の紹介

大正大学地域構想研究所/川崎市精神保健福祉センター 竹島正

13時20分-14時

レクチャー1「精神保健医療福祉施策の動向について」

厚生労働省精神・障害保健課

14時-14時30分

レクチャー2「行動制限の最小化戦略」

公益財団法人復康会沼津中央病院/国立精神・神経医療研究センター 杉山直也

14時30分-15時

レクチャー3「精神保健福祉資料（630調査）の理解」

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 立森久照/白田謙太郎

15時-15時30分

レクチャー4「NDB（レセプト情報・特定健診等情報データベース）の理解」

一般社団法人臨床疫学研究推進機構 奥村泰之

15時30分-16時30分

レクチャー5 「ReMHRAD（地域精神保健医療福祉資源分析データベース）の理解」

東洋大学ライフデザイン学部 吉田光爾

16時30分-17時

レクチャー6 「第6期障害福祉計画における目標値の設定について」

大正大学 地域構想研究所 竹島正

17時-17時30分

総合討論

受講申し込み・問い合わせ

下記あての氏名・所属・連絡先を記載した電子メールでお申込みください。

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1

大正大学 地域構想研究所内

「持続可能で良質かつ適切な精神医療とモニタリング体制の確保に関する研究」事務局

seishin-chikouken@mail.tais.ac.jp